

生徒会が名鉄広見線存続を求める署名活動を展開！ 企画展「いにしへの修学旅行」記念講話会が開催！

【令和7年8月20日】

夏休み前に生徒会が中心となり、校内で名鉄広見線の存続を求める署名活動を行いました。「後輩や住民、御嵩に住む他校の生徒、観光客の未来のために広見線を残したい。」との願いを込めて、校内放送などで呼びかけ、活動が新聞で取り上げられました。可児市内の小学3年生の亀谷弥生さんは、夏休みの研究として名鉄広見線の存廃をめぐる問題に取り組み、その記事を見て、広見線の利用状況や生徒の声を知りたいとして東濃高校を訪れてくれました。亀谷さんからは、広見線の利用割合や存廃に対して高校生はどのように考えているのかなどの質問を受けました。



御嵩町の郷土史家、廣瀬五郎様を偲ぶ講話会が8月17日(日)に中山道みたけ館で開催されました。地域の研究に尽力された廣瀬様が不慮の事故で亡くなられ、一時中止となっていた講話会が長女の酒井美香様と、地域のまちづくりに取り組む亀井和彦様らの手により開催に至りました。亀井様は「廣瀬さんが伝えたかったことは、人と関わることや実体験の大切さだと思う。」と述べられました。酒井様は廣瀬様の人生を紹介され、酒井様からは会の開催にあたり、本校の地域探究類型の2年生の生徒の言動が後押しになったと言っていました。